

## 社会福祉学部

講義名	講師名	講義内容
地域福祉を考える	教授/石井 洗二	いま、地域福祉への関心、期待が高まっています。この講義では、地域福祉とは何か、なぜいま注目されているのか、私たちにできることは何か、などについて、自分たちが暮らしている地域の課題として、一緒に考えてみたいと思います。
私たちの暮らしと社会保障	教授/李 静淑	公的年金は、老後だけでなく、若い時にも受け取ることができます。ホント！？と、疑問に思うかもしれません。このように、社会保障は高齢者だけが関係するものではなく、全ての国民が対象となっています。そこで、「私たちの暮らしと社会保障」というテーマで一緒に考えてみましょう。
北欧フィンランドの社会福祉と日本	教授/片岡 信之	北欧のフィンランドは福祉先進国として知られていますが、その意味は福祉制度だけを見てもわかりません。社会福祉制度は、あくまで家族・政治・文化などを含めた社会全体の一環としてあります。フィンランドの社会福祉現場を訪ねた際の写真を交えながら、日本と比較しつつ、高福祉を可能にしている社会の仕組みを解き明かします。
心のセルフケア	教授/山口 孔丹子	心の健康を保つためには、筋弛緩法、呼吸法、リラクゼーションなど様々な方法があります。講義では、そのうちのいくつかの方法を体験します。また、心の健康のために大切な要素についてディスカッションをして、ともに学びましょう。
公認心理師資格と大学・大学院教育	教授/会沢 勲	公認心理師は2017年に施行された法による心理職としては初の国の資格です。かなり新しい資格ですが、すでに文部科学省のスクールカウンセラー任用条件の1番目に挙げられています。今後その仕事の範囲・内容は広がっていくことが期待されます。本講義では、大学・大学院で求められる公認心理師の学修について、簡単に解説したいと思います。
対人援助技術を学ぶ	教授/西谷 清美	イギリスの慈善活動からはじまり、アメリカにおいて体系化されたソーシャルワーク(個別相談援助)を概観しながら、主に援助者の視点や価値観、具体的な援助技法等について、実践例を用いて分かりやすく解説します。
子どもを虐待から守るためにできること	准教授/北川 裕美子	みなさんが将来親になった時、育児に関わることになった時、どのように子どもとかかわれば良いのか？実際に地域で保護者や支援者に実践されている親子関係支援プログラムを体験し、子どもたちを虐待から守るためにできることは何か考えます。 【使用機器】(パワーポイント使用)PC、プロジェクター、DVD
かかわりを紐解く —援助・支援の仕組みと考え方—	教授/富島 喜揮	精神障害者への援助・支援をベースに、多くの領域で活用できる人との関係の持ち方を分かり易く紐解きます。
共生社会の実現を目指して	教授/西谷 清美	年齢や性別、属性や背景に関係なく、誰もが自分らしく、ともに安心して暮らせる社会の実現のために、社会福祉が果たす役割や方法、またその視点について考えます。
「子どもの権利」として 位置づけられる課題を考える ～子ども福祉を学ぶ意義～	教授/野崎 晃広	皆さんは、子どもの権利条約をご存じでしょうか。子どもの権利条約は、国連により1989年に採択され、日本は1994年に、この条約を批准しました。子どもの権利条約で言う子どもの権利とは、子どもとして生きる皆さん(18歳未満)にとって、どのような意義をもたらしているのでしょうか。現在18歳未満である子どもや若者である皆さんにとって、自らを取り巻く生活上の問題の中には、子どもの権利として位置づけられるべき問題が横たわっています。 一方で、子どもの存在を守る立場にあるのは、家庭をはじめ地域で暮らすすべての人々であり、子どもに携わる専門職者(福祉、教育、医療等)などもあります。子どもの存在を守る大人は、どのような役割を担うことが求められているのでしょうか。この講義では、権利の保有者である子どもとしての立場、今後大人として生きる若者としての立場、それぞれの立場について、社会の一員として、考えるべき課題を学んでいただきます。具体的には、全体学習後に、グループに分かれて、課題に基づきディスカッション、発表などを通じて学ぶ機会を提供します。なお、学校や学年などの状況に応じてアレンジも致します。
スクールソーシャルワーク ～学校で子どもを支援するために～	教授/浜田 知美	現在の学校には、不登校、いじめ、非行、リストカット等、様々な形で支援を必要としている子どもがいます。スクールソーシャルワークとは簡単に言うと、学校のなかで様々な困難に直面している子どもたちを、子どもたちの側に立って福祉の視点で支える活動です。その特徴について事例を用いながらわかりやすく説明します。